



まんだらげ

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

Photo: 紀州おどり「ぶんだら節」(和歌山市)



Contents

特集/熊本地震医療支援

TOPICS/患者支援センター開設

リウマチ・膠原病センター 5月開設

遠隔外来のお知らせ

お知らせ/リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016わかやま

平成28年度 Student Doctor 称号授与式ほか

診療科紹介/耳鼻咽喉科

理念

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

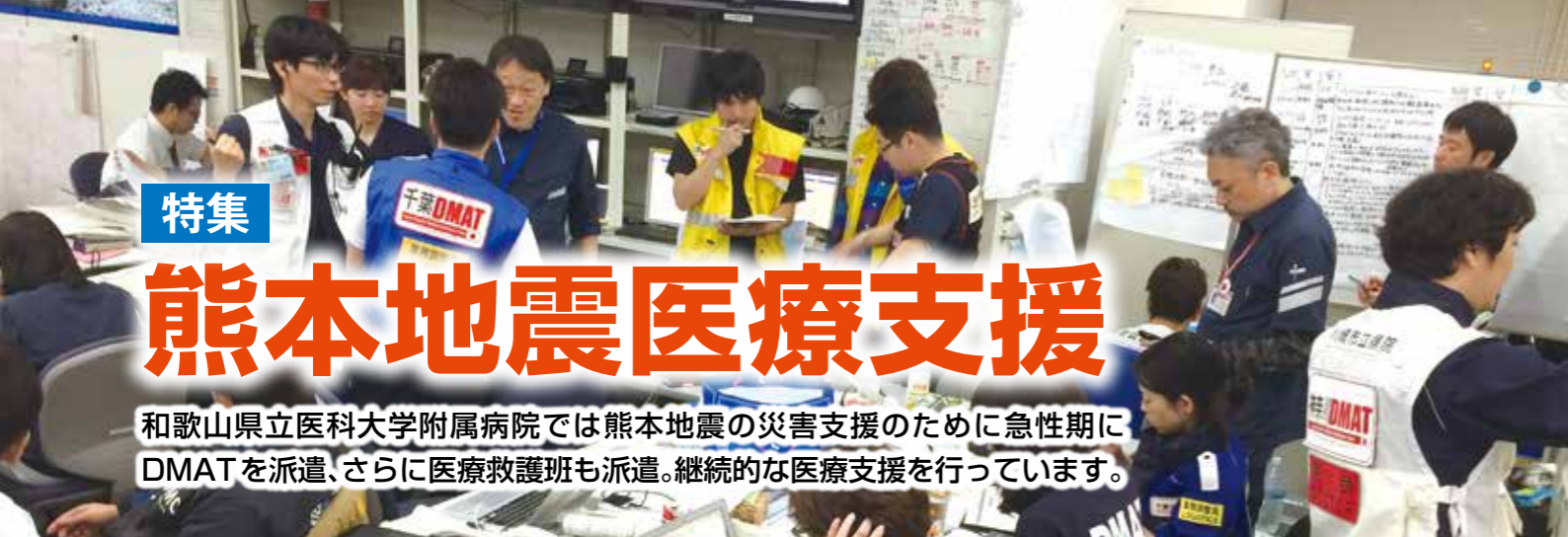
基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめその成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

特集

熊本地震医療支援

和歌山県立医科大学附属病院では熊本地震の災害支援のために急性期にDMATを派遣、さらに医療救護班も派遣。継続的な医療支援を行っています。



DMAT チーム



熊本県庁調整本部で活動する DMAT チーム

医療救護班も熊本県入り 巡回診療・医療支援を行う

DMATチームの活動に引き続いて医療救護班を派遣。4月21日に出発式を行いました。医療救護班長の岩崎医師は「まだまだ医療の行き届いていない被災地へ必要な医療を提供し、次の医療救護班へ情報を伝えたい」とあいさつし、吉田病院長は「みなさんの力を存分に生かしてきてほしい」と激励しました。

現地では、家に帰ることができず、避難所や救護所で生活をしている人たちの巡回診療や医療措置を行い、5日間にわたる任務を終えて25日和歌山へ帰還。同日「医療救護班帰任式」が行われました。

岩崎医師は「今後は和医大と県との情報連携を密にし、次の医療救護班への確かな情報を伝えたい」と話しました。



医療救護班出発式

<医療救護班>

高度救命救急センター	医師	岩崎 安博
糖尿病・内分泌・代謝内科	医師	川嶋 弘道
11 階東病棟	看護師	地主 幸司
9 階東病棟	看護師	増田 糸往里
薬剤部	薬剤師	土井 光則
総務課	事務職員	佐々木 起典

病院長あいさつ



病院長 吉田 宗人

熊本地震では2回の大規模な地震と頻回の余震で家屋の倒壊など、被害が大きかったと聞いています。

当院からは熊本県からの派遣要請に対してDMAT、医療救護班などを派遣しました。どの職員もみな進んで行ってくれ、それ

ぞれの機能を十分発揮してくれました。

今後は息の長い支援が必要になると思いますが、病院としてできる支援を継続していきます。



DMAT チーム帰任式

和医大附属病院DMATチームの島医師は、「東北大地震のときには、各地域のDMATチームと臨時医療施設でのトリアージや患者さんの病状を安定化させるための医療を行いました。今回は熊本県の調整本部での活動支援でした。大規模災害における急性期(48時間以内)に活動できる機動性を持つ、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームをいかに効率よく早期に機能させられるか。本部の役割を学べた貴重な体験でした」と語ります。

チームは19日、阿蘇医療センターへの物品搬入完了後20日に活動を終了しました。

また、16日から18日までの3日間、和歌山県庁に設置されたDMAT調整本部でも5名の職員が活動しました。

< DMAT チーム >

高度救命救急センター	医師	島 幸宏
高度救命救急センター	医師	那須 亨
ICU	看護師	中野 美幸
HCU	看護師	波元 裕也
中央放射線部	放射線技師	池田 敦彦
臨床工学センター	臨床工学技師	中島 希実

< 県庁調整本部 >

高度救命救急センター	医師	岩崎 安博
高度救命救急センター	医師	中島 強
7 階西病棟	看護師	高野 裕子
解剖学第一教室	事務職員	小山 卓也
保健看護学部	事務職員	林 豊記

DMATチームは 熊本県中枢機関で活動

4月14日、熊本県を中心に大規模な地震が発生しました。和歌山県立医科大学附属病院へはDMAT事務局から待機要請があり準備を進めていました。2回目の大規模地震が起こった16日未明に出動要請があり、医師・看護師・技師ら当院のDMATチーム6名は陸路で熊本県へ入りました。

全国各地から222班(1028名・17日15時)のDMATチームが災害医療支援に向かうなか、当院のDMATチームはいち早く熊本県に到着し、熊本県庁内に設置された熊本県DMAT調整本部で活動を開始しました。

本部では、医療機関の建物の損壊状況、入院患者の状況、病院のライフライン(電気・ガス・水道)の供給状況、医療・薬品などの供給状況などの詳細を把握。それから、入院患者の受け入れができる近隣病院、県外病院への患者分散・転院計画を立て、自衛隊やドクターヘリによる患者搬送を要請したり、患者の治療に対応するためにDMAT隊を派遣したりするなど、県内全体における医療支援の調整役を担いました。

その他活動支援

被災地の避難所でDPAT、JRAT活動

厚生労働省から和歌山県へDPATチームの派遣要請があり、当院からは4月30日から5月3日の間神経精神科 鶴飼 聡 医師を、5月4日から7日の間、山本 真弘 医師を派遣しました。DPATとは災害派遣精神医療チームのことで、大規模災害などで被災した精神科病院の患者への対応や被災者のこころのケアをはじめとする精神疾患の発症の予防などを支援する専門のチームです。

現地では避難所を巡回し、避難生活による急性ストレス反応を発症した避難者や精神疾患を抱えた患者さんへの対処・対応方法のアドバイスや診療などを行いました。

また、JRATからの要請でリハビリテーション科 荒川 英樹 医師を派遣しました。JRATとは災害時の生活不活発病などによる身体機能の低下をリハビリテーションにより予防、治療する災害支援チームです。避難所を巡回し、要介護者、避難生活により今後介護が必要となる可能性の高い要支援者の方々を対象にリハビリ支援を行いました。



学生ボランティアグループ JR和歌山駅前募金活動

和歌山県立医科大学学生災害ボランティアグループは、熊本地震における被災地の一日も早い復興を願って、4月22日、26日、28日の午後5時30分から午後7時30分までJR和歌山駅前にて熊本地震支援の募金活動を行いました。3日間の活動の結果193,418円が集まり、学内に設置した募金箱の寄付とあわせて日本赤十字社に寄付しました。

患者支援センター開設

平成28年4月1日より、患者支援センターにおいて患者さんの入院から退院までの総合的な支援や患者さんの療養生活や社会生活にまつわる医療、保険、福祉などの相談を行っています。

患者さん、ご家族、地域の開業医の先生方や医療機関、そして施設、事業所の方々からのご相談やご依頼をお受けいたします。どうぞ遠慮なくご利用ください。

業務内容

○退院支援・在宅移行支援

当院は、高度で先進的な医療を行っている特定機能病院です。そのため、急性期の治療や手術などが終わり、病状が安定した患者さんについては、退院または地域の連携している医療機関等へ転院していただくことになります。

患者さんが安心、納得し、住み慣れた地域などで療養や生活を継続できるように退院の支援を行い、また、リハビリテーションなどの回復期治療等が必要な患者さんには転院の支援を行います。そのため、入院されると約1週間以内に患者支援センターの担当者が退院のことなどについて、病室でお話をお伺いさせていただくことがあります。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

○医療福祉相談

医療相談

- ・退院後の生活についての相談
- ・在宅療養中の相談
- ・費用に関する相談
- ・セカンドオピニオンに関する相談
- ・かかりつけ医に関する相談

福祉相談

- ・医療費や生活費等の経済的な問題
- ・社会保険制度等に関する相談
- ・介護保険に関する相談
- ・身体障害者手帳取得に関する相談
- ・福祉サービスに関する相談
- ・他院への紹介・診察予約

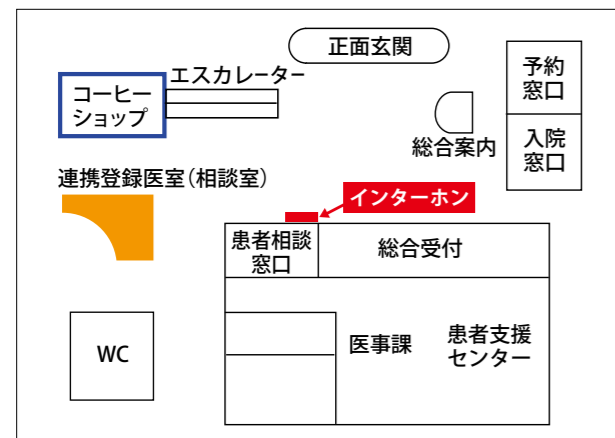
○地域連携の取り組み

- 医療機関からの診療予約
- がん相談支援センター
- 予約センター

がん患者サロン「わ」

がん患者さんの交流会を開催しています
参加には事前申し込みが必要ですので下記までお問い合わせください
問合先 073-445-0778
日時 毎月第3金曜日 14～15時
場所 附属病院中央棟2階 相談室（連携登録医室）

附属病院中央棟2階



患者支援センターに御用の方は、インターホンを押してください。職員が参ります。



リウマチ・膠原病センター 5月開設！ 関係診療科と総合的に治療にあたる

リウマチ・膠原病は、関節の痛み、発熱、腫れ、発疹の皮膚症状など、複数の症状が体全体に広がる「全身性自己免疫疾患」です。代表的な膠原病には、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス(SLE)、多発性筋炎、皮膚筋炎などがあり、腎臓機能低下や肺障害、関節障害を引き起こす場合があります。

「リウマチは高齢の方の病気で若い人には起こらない」、「がんではないので命を落とすことはありません」、「関節や筋肉の病気なので、血液や肺、腎臓が悪くなることはない」、「不治の病、難病である」など、さまざまな誤解があります。

患者さんによってその症状や重症度、治療法が大きく異なります。早期に専門医に診断してもらい、症状に適した治療を受けることが重要です。

当院では、昨年10月に「リウマチ・膠原病科」を開



「リウマチ・膠原病センター開設記念講演会」の様子

設。今年5月には、リウマチ・膠原病科を中心に整形外科、皮膚科などと共同で治療にあたる「リウマチ・膠原病センター」を開設しました。

藤井隆夫センター長は慶應義塾大学病院や京都大学医学部附属病院において、リウマチ・膠原病の診療、研究に携わってきた専門医です。

地域病院の医師とも連携し、和歌山県におけるリウマチ・膠原病の拠点としての役割を果たせるよう、また治療方針を共有できるよう努力いたします。

遠方からの通院の負担を軽減する 「平成28年度遠隔外来」の実施について

和歌山県立医科大学地域医療支援センターでは、平成26年7月より遠隔医療支援システムを利用した遠隔外来の運用を開始しました。

平成28年度は15診療科26専門外来及び昨年度に引き続き、吉田宗人病院長による特別実施枠（専門外来名：脊髄・脊髄疾患）を設け、実施しています。

●遠隔外来のメリット

- 当院まで来院されなくても、お近くの医療機関で専門医のアドバイスを受けることができます。また、通院に要する時間や経済的負担等を軽減できます。
- お近くの医療機関の医師に加えて、当院の医師がアドバイスすることにより、複数の医師の診断が反映されます。

●留意点

- 遠隔外来は、当院の専門医が診療へのアドバイスを行うものであり、診療行為を行うのはあくまで各システム設置医療機関の医師です。



地域医療支援センター
お問い合わせ先
TEL: 073-441-0845 (直通)
FAX: 073-441-0846
E-mail: enkaku@cmsc.jp

実施例

- 腰痛を訴えていた紀南在住の高齢女性が吉田病院長による遠隔外来で手術が必要と診断を受け、後日医大で手術を受けた。
- 以前から医大の神経精神科で診察を受けていた紀南在住の男性が遠隔外来での受診を希望。医大まで通院する負担が減ったとご家族も喜んでいいる。

お知らせ

106名に認定証と白衣を授与 「平成28年度 Student Doctor 称号授与式」を開催

Student Doctorとは、全国の医学部が共通の問題を用いて行う医学全般の知識・実技の試験に合格し、臨床実習を行うことを許された医学部生のごことで、全国医学部長病院長会議が認定するものです。今年で3度目の開催となり、本学医学部5年生が臨床実習を開始するに当たり、医療人としての自覚、心構えを再認識し、決意を新たにすることを目的とし開催しています。

4月18日に行われた式では、岡村吉隆学長から「患者さんとのコミュニケーション能力をしっかり養ってほしい。」と式辞が述べられました。続いて、吉田宗人病院長から整形外科医を志すきっかけとなった臨床実習中の出来事を交えながら「卒業後の自分

の将来を意識しながら貴重な経験を積んでほしい。」と訓示が述べられました。そして、大学関係者や家族らが見守るなか、106名の学生一人ひとりに認定証と白衣が授与されました。

現在、学生たちは各診療科において一生懸命に臨床実習を行っています。



「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016わかやま」に参加

リレー・フォー・ライフは、がん患者やそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合っがん征圧を目指すチャリティ活動です。

1985年、アメリカで始まり、昨年は世界25か国、約6,000か所で開催されました。5月14日(土)12時から15日(日)13時の間、和歌山公園砂の丸広場で開催され、日本における今年のスタートイベントとなりました。

当院からはがん相談支援センタースタッフが相談ブースを出展するとともに、リレーウォークへも参加しました。



専門医による県民公開講座 平成28年度 最新の医療カンファランス

■9月8日(木)

●喘息・COPDについて

呼吸器内科・腫瘍内科 中西 正典

●肺がん医療の最前線

呼吸器内科・腫瘍内科 洪 泰浩

■10月13日(木)

●紫外線と皮膚の老化について：Part1 基礎編

皮膚科 国本 佳代

●紫外線と皮膚の老化について：Part2 治療編

皮膚科 上中 智香子

【場所】和歌山県立医科大学

生涯研修センター研修室(図書館棟3階)

【時間】午後2時から午後4時まで

【定員】一般県民100名(無料)

【問い合わせ】

和歌山県立医科大学 生涯研修センター

TEL 073-441-0789

FAX 073-441-0822

※内容、演者につきましては都合により変更する場合がありますので、予めご了承ください。

診療科紹介

耳鼻咽喉科

—感覚器・機能外科・腫瘍外科として 専門性の高い医療を担っています—

耳鼻咽喉科は、人が生きていくために大切な「感覚」と「運動」の機能を扱う診療科です。聴覚(聴く)、嗅覚(匂いを嗅ぐ)、味覚(味わう)、平衡覚(自分の足で歩くためのバランス感覚)などの感覚機能の専門科であると同時に、食べ物を噛んで飲み込む摂食・嚥下機能や会話や歌を楽しむための音声・言語などの機能と、それに必要な鼻腔・口腔・咽頭・喉頭の専門的診察を行ないます。また、「命を守る」の頭頸部外科と



して頭頸部がん(舌がん、咽頭がん、喉頭がん、上顎がん)・甲状腺がんに対する専門的診察を行ないます。

頭頸部がん・甲状腺がんに対しては、手術・放射線・抗癌剤を用い機能を損なわない集学的治療を他診療部門とともにチーム医療として進めています。また、感覚器外科としては、人工内耳を中心とした聴覚改善手術を積極的に行なっています。

教授就任挨拶



教授 保富 宗城

このたび、平成28年5月1日付けで和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科学講座の教授に就任いたしました。

私は田辺市で生まれ、和歌山県立医科大学を卒業した後、母校で耳鼻咽喉科の臨床に研鑽を積みさせていただきました。耳鼻咽喉科は、感覚器・機能外科、腫瘍外科として耳、鼻、舌・口腔、咽頭、喉頭、甲状腺の広い領域において、新生児から高齢者までの診療を行

ないます。これまでに、人工内耳をはじめとする聴覚改善手術に取り組むとともに、頭頸部がん・甲状腺がんに対する外科手術を中心とした集学的治療を行ってまいりました。

今後も、医学・医療の発展に貢献するとともに、安全で優れた医療を県民の皆様にご提供すべく努力に励んでまいります。よろしくごお願い申し上げます。

経歴

- 平成 3年 和歌山県立医科大学医学部 卒業
- 平成 5年 和歌山県立医科大学大学院医学研究科
- 平成 9年 有田市立病院 耳鼻咽喉科
- 平成 13年 和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科 講師
- 平成 15年 米国アラバマ州立大学バーミンガム校 留学
- 平成 17年 和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科 講師
- 平成 21年 公益財団法人がん研究会有明病院 頭頸科 国内留学
- 平成 24年 和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科 准教授
- 平成 28年 和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科 教授

慢性呼吸器疾患看護相談外来を希望される方へ

まんだらげ36号(2016年春号)でご紹介しました標記看護相談外来は、当院呼吸器内科に通院される患者さんやそのご家族で希望される方、医療スタッフが必要だと判断した患者さんやご家族を対

象としています。

看護相談外来は予約制となっていますので、ご希望の方は呼吸器内科外来でご相談ください。

予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「**予約制**」とさせていただきます。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などからFAXでお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」**にて患者支援センターにFAX送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信いたします。
- ③ 予約当日は、**予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

患者支援センター

FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月・火・水・金 9:00～19:00
木 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ご本人からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などで紹介状**をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 「**当院予約センター**」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、**紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

電話予約センター

電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月～金 8:30～16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく9:30～17:00まで院内の予約窓口も開設しています。

初診時、再診時の選定療養費について

医療の機能分担を進める観点から、平成28年度診療報酬改定により特定機能病院及び一般病床数500床以上の地域医療支援病院においては初診時、再診時の選定療養費の定額徴収が義務化されました。

当院においても初診及び再診時の選定療養費の改定を行い、平成28年7月1日より右記のとおりご負担いただきますのでよろしく申し上げます。なお、徴収の対象とならない場合がございます。詳細については医事課医事収入班(073-441-0518)までお問い合わせください。

【初診時】(他の保険医療機関等からの紹介なしに受診される場合)

●**内科 5,000円** ●**歯科 3,000円**

【再診時】(当院より他の保険医療機関への紹介を申し出たが、引き続き当院を受診される場合)

●**内科 2,500円** ●**歯科 1,500円**
(金額はいずれも税込)

患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざま医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

<外来受付時間>

- ・受付時間 午前8時50分～午前11時30分
- ・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)
- ・休日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- ※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。